

# このページで学べる！落語の魅力を紹介！

これまでに落語を見に行っていたことがあるでしょうか？「内容が分からない・・・なんだかつまらなそう」などの理由から、見に行っていない人も多いかもしれませんね。

でも、実は落語は思っているほど難しくありません。今回のページでは落語についての魅力を詳しく解説していきます。

落語は今や世界中から注目されている日本の伝統芸能です。日本の文化をしっかりと分かっていないと理解できないのでは？海外の方におもしろさは伝わりにくいのでは？と疑問に思ってしまうそうです。

落語は耳だけでなく目でも楽しむ芸術です。日本の昔話などを演者が体で表現しながら話を進めていきます。

おもしろい表現で観客を誘うものではなく、あくまで誰にでも分かりやすいおもしろさが魅力と言えるでしょう。そのため、日本人落語ファンがいのほもちろん、海外でも人気が高まってきているというわけなのです。

落語の基本について知り、ぜひ関心をもっていただけたらうれしいです。

そもそも、落語とは一体どういうものなのか。改めて聞かれると答えるのに困ってしまうかもしれません。落語の基本について学んでいきましょう。

## 落語の特徴

落語は歌舞伎や能など他の日本伝統芸能と違い、一人でいろんな方法を使って登場人物を演じます。扇子と手ぬぐいの他は何も持たず、体で表現し、話し方や声色だけで話に沿った役を演じ分けます。

衣装や舞台装置なども極力使わず、演者の技巧と聴き手の想像力で噺の世界を広げていくのが特徴。噺が上手な落語家になると、目の前にその噺の映像がありありと浮かんでくるよう。

大掛かりなことは何もない、とてもシンプルで身近な芸能です。それだけに落語家の技量が大きく影響を与える、どこまでも奥が深い伝統芸能なのです。

## ■落語？噺？

落語は噺と呼ばれることもあります。落語の演目で話される物語のことを噺と呼ぶことも。

また、落語家のことは噺家ともいいます。

## 落語の「オチ」

落語の噺には最後にオチがつくのが特徴です。オチは「下げ」とも呼ばれます。

このオチとは、噺の最後にある気のきいた結末のこと。

考えオチ、廻りオチ、間抜けオチ、しぐさオチなど・・・。オチの種類は数多くあります。この噺のオチはどれだろうと考え込んでしまうのではなく、どう落ちるのかを楽しむことが大事です。

そもそも、落語という名前は落とし噺と呼ばれていたことからその名前がつけました。

## 噺はさまざま

噺の種類は数多くあります。笑い話だけでなく、人情噺や旅の噺。町人が主役の噺、武士が主役の噺などこの他にもたくさん。自分の好きな噺を探してみるのもおもしろいですよ！

## 落語の道具

それでは落語の道具を今から紹介します！まず1つ目は扇子です。



いっばん かつ せんす ひら つか らくごか かつばあい きほんてき せんす と  
一般の方は扇子を開いてうちわのように使いますが落語家の方場合には基本的には扇子を閉じてい  
ろいろなものに見立てて使うことがあります。落語家の方にはこの扇子は欠かせない物です。

つぎ て しょうかい  
次に手ぬぐいをご紹介します！



いっばん かつ て つか らくごか かつ て さいふ み た  
一般の方は手ぬぐいをハンカチみたいに使いますが落語家の方はこの手ぬぐいを財布に見立てるこ  
とが一番多いそうです。確かに手ぬぐいを開いてお金を出すしぐさをすればお金を出しているように  
みえますよね！また手ぬぐいを縦にして手紙を読むしぐさをすれば手紙を読んでいるように見えます  
よね！落語家の方には欠かせない物です！

さいご み こんかい ていかくねん わ かいせつ  
最後まで見てくれてありがとうございました！今回は低学年でも分かるように解説しました！もし  
このページを見て「落語に興味をもった！」「落語を見たい！」と思っただされれば幸いです  
。今回は誰でも分かる！落語の魅力をご紹介します！

いちぶ ぶんしょう がぞう いっばんしゃだんほうじんにほんでんしき きほしゅうきょうかい いんよう  
※一部の文章・画像は一般社団法人日本電子機器補修協会より引用